

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		パートんち		公表日		8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3名		設置基準に基づきスペースの確保を行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3名		設置基準に基づき配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3名		福祉のまちづくり条例に基づいた構造、バリアフリー、環境を提供しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3名		その日の天候に合わせ空調を整える配慮を行っています。出入口、手洗い場に消毒を置いています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3名		個室や寛げるスペースを設けています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3名		常にチームで検討しながら進めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3名		自己評価シートを活用し、面談による意向確認をしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3名		一日の振り返りの際、常時確認しあっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2名		小規模事業所にて外部評価までは行っていませんが、今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3名		年間研修スケジュールを立案した後、情報収集しながら随時研修の機会追加を設けています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2名		チームで検討して作成の後、ホームページに公表、施設内にも掲示しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2名		一日の振り返りを全員で行ったことを基に記録のなかで複数スタッフによるアセスメントをし、職員全員で記録の回覧をしています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3名		相談支援専門員によるサービス計画書、及びサービス調整会議内容を全職員間で共有し、児童発達支援管理責任者が児童発達支援計画を作成するにあたり職員より意見を求めています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3名				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		2名		今後検討していきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2名		とりわけ家族支援を重視しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2名		チームおよび保護者と立案しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2名		前回までの支援や、現在の過程での状況、併行利用する児童発達支援センターでの状況を踏まえ、チームおよび保護者と工夫して取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2名		保護者同伴の個別療育を行っており集団療育がありませんが、児童発達支援センターでの集団療育と併行した利用をさせていただくことで組み合わせの支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3名			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3名			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3名		記録とアセスメントを複数名で行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2名			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2名			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3名			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2名		現在保育園等に在籍する児童がいませんが、定期的に開催する地域交流イベントで、広く子育て中の保護者との交流機会を設けています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				現状対象児童がいません。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3名			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1名		2か月に1回、地域交流イベントを開催しており、地域のなかでこどもも交わることができる機会を設けています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3名		保護者同伴の個別療育のなかで、毎回共有する場を設けています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1名		施設内での情報の掲示、SNSを利用した情報共有を行っています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2名			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3名		作成時には保護者と面談のうえ、共にアセスメントを行いながら作成しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3名			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3名		保護者同伴の個別療育のなかで、毎回相談や助言の場を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3名		利用児童が少なく保護者会は現在ありませんが、子育てカフェを開催し、地域で子育て中の保護者やきょうだいとの交流機会を設けています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3名			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3名			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3名		活動内容をSNSに公表する際は必ず事前に保護者に同意を得ています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3名		障害特性に応じて、言語だけでない表現方法の引き出し、また、感覚機能を使った情報伝達を意識して取り組んでいます。	今後ITコミュニケーションツールを活用していきたいと考えています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2名		随時見学の機会を設けたり、地域の子ども食堂や子ども広場等に地域交流イベント案内掲示をお願いしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3名			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3名			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3名			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1名			対象となる児童がいませんが、必要時対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3名			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2名	1名		家族に確実に提示しているわけではないので、今後は周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3名		対応策や記録様式等の準備を行っていますが、現在まで事案発生していません。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3名			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		3名		身体拘束に関するマニュアル作成を行っていますが、児童発達支援計画に記載はしていないので、記載していきます。	